

## 「学校経営の方針・重点」

本校の学校教育目標の実現に向け、教育活動の充実・向上を図るため、横浜市教育委員会の運営方針で定めた重点施策をふまえるとともに、だれもが、安心して、豊かに、生活できる学校の実現を目指す。また、人権尊重の精神を基盤とする教育を研究・実践等を進める中、本校のよい伝統を生かしながら、教職員組織の「和」を重視し、教職員による分業・協業及び創意工夫によって、学校の自主・自律を高める学校経営の積極的な推進に努める。そして、地域に根ざす学校であるよう、生徒・保護者・地域等との交流・連携・協働の関係を大切に、いっそう深めるとともに、学校に対する理解や協力を求め、信頼される学校づくり、期待に応える生き生きとした学校づくりを目指す。

### 【学校経営の方針】

「学習指導要領」及び「横浜版学習指導要領」等の内容をふまえ、移行期間の中で新しい教育課程の編成を進め、学校の状況・取り組みを発信し、かけがいのない生徒たちの健やかな成長を着実に支援する。また、保護者や地域の方々の理解を得ながら「中期学校経営計画」に沿って学校評価に基づく学校づくりを推進していく。

- ① 生き方の教育の実現に向け、人権尊重の精神を基盤とした教育活動の推進
- ② 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、社会の変化に対応し、さらに横浜らしさの公・開をふまえた横浜の未来を担う生徒の育成
- ③ 個性を生かす指導の充実と生徒の豊かな学びの基礎となる教育環境の整備
- ④ 教職員組織の活性化（組織としての活動）と資質や授業力・指導力の向上
- ⑤ 学校、家庭、地域が連携して生徒を育む視点に立った開かれた学校づくり
- ⑥ 横浜版学習指導要領に沿い、本校に特色を生かした新しい教育課程編成の推進

### 【指導の重点】

学校生活の基本の柱を「学習」「生活」「保健」の3本に掲げ、生徒一人ひとりが喜びをもって主体的に学習し、学習の基礎・基本の定着を図るとともに、教育活動全体を通して、生徒の自治能力を高め、自主的・積極的に取り組めるような生徒の育成を目指す。

- ① 生徒、教職員相互のふれ合いを大切に、生徒一人ひとりに寄り添い、人権を尊重し、いじめや差別を許さない考え方・心情・態度の育成に努め、心通い合う指導・支援と生徒理解、教育相談活動、あいさつ運動等の推進と充実に努める。
- ② 研修体制を充実させ、指導力の向上、学習指導方法などの工夫改善を積極的に行い、「わかる」「できる」といった学習の基礎・基本の定着と、「しっかり教え、しっかり引きだす」指導が図れるよう取り組み、学力の向上と充実に努める。
- ③ ねらいを明確にした体験活動を通して、学習の場の設定を工夫し、実践的な力を身に付けるとともに、生徒の自主的・積極的な自治活動の活発化に努める。
- ④ 生活指導・健康安全指導の徹底により生徒の命を守る。また、体力向上を図るとともに、部活動の活性化に努め、心身ともに健全な育成に努める。
- ⑤ 生徒一人ひとりの個性の把握と伸長に努めるとともに、かけがいのない存在として、調和のとれた人間に成長できるように学級経営の充実（仲間づくり、学級会活動、教室環境整備等）に努める。
- ⑥ 教職員相互が理解し合い、信頼と協力により、組織的な教育指導に努め、教職員間の情報の共有化を図るとともに、「報告・連絡・相談」のシステムを組織的に機能させ、指導方針を明確にして共通実践に努める。
- ⑦ 教職員一人ひとりが生徒及び保護者に信頼されるよう、校内研修をはじめ積極的な研修を通し、自己研鑽に励み、豊かな教養と専門性や指導力を高めるとともに、保護者、地域等との連携を密にし、家庭、地域への情報発信に努める。
- ⑧ 学校予算の執行にあたっては、教育活動全体を通し、教育効果の向上が図れるよう、適正な執行及び経費節減と計画的・効率的な予算執行に努める。